

切除・植皮術（胸・腹部）を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

月日 項目	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後 2日目～6日目	手術後7日目	手術後8日目～退院まで
達成目標	- 手術に対して分からないことや不安なことを医療者に表出し、精神面・身体面を整えて手術を受けることができる - 手術後の経過が理解でき、不明点があれば医療者に質問し、解決できる		- 疼痛が緩和される - 血圧や呼吸状態が安定している - 創部からの異常出血がない	- 術後合併症がなく経過することができる - 手術後の経過で理解できないことや不安なことを表出できる - 創部の安静を保つことができる	- 術後合併症がなく経過することができる - 手術後の経過で理解できないことや不安なことを表出できる - 創部の安静を保つことができる - 感染兆候なく経過することができる	- 創部の安静を保つことができる - 感染兆候なく経過することができる	- 異常を自覚した場合の対処方法が言える - 退院に向けて創部の処置を自己で行える
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	- 入院の際、内容確認のために普段飲んでいる薬や使用されている軟膏は一度預かります。(お薬を継続するか、医師に確認後にお伝えします。) - 手術前日の寝る前に、下剤の薬を飲みます。(医師の指示により変更となる場合もあります) - 患部を圧迫しないように体位が制限されることがあります。そのため体位の練習をすることがあります。 	6時頃に、体温、血圧を測ります - 処置室または病室で洗腸をします(便の量を確認しますのでトイレの水を流さずに、ナースコールを押してください) - 肌着を脱いで手術衣を着用します。 - 弾性ストッキングを着用します - 水分を補給するため、手術前に酸から点滴をします(朝一番の手術の場合、手術室で点滴します) - コンタクトレンズ、めがね、入れ歯を外してください - 医師、看護師と一緒に手術室に行きます - 手術前の薬は、医師の指示に従いましょう	- 手術室からベッドで部屋に戻ります - 医師の指示で、酸素マスク、心電図をつけます - 看護師が定期的に全身状態の観察を行います - 食事が食べられるようになるまで点滴をします - 足に深部静脈血栓症予防のフットポンプを装着することがあります 	- 創部の診察(ガーゼ交換)があります - 医師の指示があるまでは、ベッド上ではフットポンプを装着します - 痛みが強いときには鎮痛剤を使用します - 抗生剤の点滴をします - 医師の指示があるまでは、ベッド上ではフットポンプを装着します 	- 創部の診察(ガーゼ交換)があります - 痛みが強いときには鎮痛剤を使用します - 抗生剤の点滴をします - 医師の指示があるまでは、ベッド上ではフットポンプを装着します	- 皮膚を移植した部分の傷を開け、チェックし消毒を行います - 創部の診察(ガーゼの交換)があります - 医師の指示があるまで、抗生剤の点滴をします	傷の状態を確認します
検査	- 採血 - 肺機能検査 - 心電図 - 胸部レントゲン						
活動・安静度	制限はありません		- ベッド上安静となります - 手術した側を下にした横向きはできないこともあります。医師の指示により少しずつ体を起こしていきます - 血栓を予防するために、膝が曲がるようになれば足首のそり返しや足の曲げ伸ばしをしましょう	- 医師の指示があるまでベッド上安静となります - 医師指示で腹帯を着用します	許可が出れば車椅子で移動することが出来るようになります	移植した部分の傷を開けて状態がよければ医師からの歩行許可が出ます。または、抜糸後に歩行許可が出ます。	
食事	夕食は食べていただき、その後は麻酔科の医師の指示に従って下さい	飲水、食事はできません。うがいはできます	- 医師の指示で、飲水・食事が開始となります - 手術当日は食べれない場合もあります	- 食事が開始となります - 普通食 			
清潔	- 特に制限はありません。 - 爪が伸びている場合は、切りましょう	手術後はベッドの上で歯磨き、顔拭きをします	歯磨きはできます(看護師がベッドにご用意します)	体を拭きます 	医師の許可が出たらシャワー浴ができます		
排泄			手術中に尿を出すための管が入ります	医師の許可が出たら尿の管を抜き、トイレで排泄となります			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	- 看護師が今までの生活についてお話を伺い、手術前後の経過について説明します - 主治医より本人・ご家族へ手術の説明を行います。その後、手術同意書に署名・捺印していただきます - 麻酔科の医師が麻酔について説明します。麻酔同意書に署名していただきます - 手術室看護師が訪問をします	- 手術室は3階です - 手術は、()番目です。 - 一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます。 - 二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます - 手術室からの連絡は全て病棟に入りますので、ご家族の方は病室が7階のデイルームでお待ちください - 貴重品はご家族に預けるか金庫に入れて下さい(鍵はご家族に預けてください)	手術後、医師から手術の説明があります	- 体をねじったり、曲げたりなど創部を激しく動かすと傷が開くことがありますので、医師の指示があるまで安静を保ちましょう - 歩行許可が出て1～2日は看護師と一緒に歩行しますのでナースコールでお知らせください - 深部静脈血栓症を予防するための弾性ストッキングを脱ぐ際には、看護師からお知らせします	- 医師から今後の外来受診や治療予定について説明があります - 看護師よりパンフレットを用いて退院後の日常生活の注意点、創部の処置の方法について説明します 		
その他	- 準備するもの(T字帯枚2枚、バスタオル1枚、ストロー又は薬のみ) - 深部静脈血栓症を予防するための弾性ストッキングをお貸しします - 診断書のご希望がある場合は、外来棟の文書受付に申請して下さい(書類にはお名前、生年月日を事前にお書きください) 					- 入院費は退院日に精算となります。前もって金額が知りたい方は、看護師または事務員にお知らせください。 - 宮崎大学医学部附属病院 皮膚科外来 0985-85-9889 皮膚科病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225 ※時間外は病棟に電話をおかけください	

注：イラストはMPQのイラスト集より転載

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。場所の転由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院